

《担当者名》○神田直樹 [kanda@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 桑原ゆみ [yumi-k@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 野川道子(非) [mnogawa@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 高井奈津子(非) [takai@saiseikai-otaru.jp]

【概要】

ヘルスアセスメントの学習を基に、代表的な慢性病の病態・診断・治療過程、フィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび複雑な状況にある慢性病者の身体・心理社会的側面を含む包括的アセスメントについて学ぶ。加えて、慢性病者の生活状況に合わせた支援方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 代表的な慢性病の病態・診断・治療過程を理解し、説明できる。
2. 代表的な慢性病のフィジカルアセスメントと症状アセスメントを理解し、説明できる。
3. 慢性病者の身体・心理社会的側面を含む包括的アセスメントの意義と方法について説明できる。
4. 慢性病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援を説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----------|---------------------------|---|------------------------|
| 1 | 慢性病者のヘルスアセスメントと高度実践看護師の役割 | 慢性病の特徴とヘルスアセスメント 慢性病における高度実践看護師の役割 | 野川 神田 桑原 |
| 2 3 | 内分泌系機能障害を持つ病者のアセスメント | 内分泌機能障害の病態・診断・治療過程 内分泌機能障害のフィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび包括的アセスメント 内分泌機能障害を持つ病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援 | 神田 桑原 渡辺美和(特別講師) |
| 4 5 | 慢性呼吸機能障害を持つ病者のアセスメント | 慢性呼吸機能障害の病態・診断・治療過程 慢性呼吸機能障害のフィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび包括的アセスメント 慢性呼吸機能障害を持つ病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援 慢性呼吸機能障害を持つ病者の療養計画と支援 | 高井 神田 桑原 |
| 6 7 | 慢性循環機能障害を持つ病者のアセスメント | 慢性循環機能障害の病態・診断・治療過程 慢性循環機能障害のフィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび包括的アセスメント 慢性循環機能障害を持つ病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援 | 神田 桑原 |
| 8 9 | 慢性腎機能障害を持つ病者のアセスメント | 慢性腎機能障害の病態・診断・治療過程 慢性腎機能障害のフィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび包括的アセスメント 慢性腎機能障害を持つ病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援 | 神田 桑原 横井友似(特別講師) |
| 10 11 | 自己免疫疾患を持つ病者のアセスメント | 自己免疫疾患の病態・診断・治療過程 自己免疫疾患のフィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび包括的アセスメント 自己免疫疾患を持つ病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援 | 野川 神田 桑原 |
| 12 | 神経変性疾患を持つ病者のアセスメント | 神経変性疾患の病態・診断・治療過程 | 野川 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----------|---------------------|---|----------------|
| 13 | ント | 神経変性疾患のフィジカルアセスメントと症状アセスメントおよび包括的アセスメント 神経変性疾患を持つ病者の生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援 | 神田 桑原 |
| 14 15 | 関心領域の慢性病者の包括的アセスメント | 学生の関心領域の事例を用いた、慢性病者に対する包括的アセスメントと生活状況に合わせた長期的な療養支援の検討 | 野川 神田 桑原 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション30%、準備・参加状況30%、課題レポート40%による評価。

【教科書】

特に指定しない。適宜資料を提示する。

【参考書】

随時、提示する。

【学修の準備】

事前に関連文献を読み、十分準備して授業に臨むこと。

【学習方法】

- ・ 教員による講義、教員が提示する課題事例を題材にし、代表的な慢性病に関するフィジカルアセスメント、症状アセスメントおよび包括的アセスメントに関する知識を深めた上で、生活状況に合わせた長期的な療養計画と支援について学習する。
- ・ 講義、質疑応答および学生の関心領域の事例に関するプレゼンテーションを組み合わせながら内容を深めていく。